

環境省主催シンポジウム

動物の愛護と管理と科学の関わり について考える

—道徳、倫理、生命観、動物観との関わり—

2017年2月26日(日)

於： 昭和女子大学
グリーンホール

ヤマザキ学園大学動物看護学部准教授
ヒトと動物の関係学会理事
専門社会調査士

新島 典子

道徳、倫理、生命観、動物観： 動物愛護管理との関係性

1. 日本の死生観とは？
2. 日本の動物観とは？
3. 科学 VS 死生観・動物観の側面
4. 道徳や倫理は私たちの行動をどのように左右するか？
～人文社会科学の動物愛護管理への影響や可能性～

【略歴・専門分野】

東京大学大学院人文社会系研究科博士課程(社会学)満期退学
東大院研究員(死生学)、ヤマザキ動物看護短期大学准教授を経て
現在、ヤマザキ学園大学動物看護学部(動物人間関係学専攻)准教授
(ペットロス論、動物人間関係学特論、死生学などを担当)
麻布大学獣医学部、東京歯科大学 非常勤講師(社会学、生命倫理を担当)
ヒトと動物の関係学会 理事

【研究テーマ】

社会意識のあり方や、人や社会自体の変容を表す社会現象としてのヒトと動物の多様な関係性の分析

【国内外での調査・比較研究】

動物との歴史的関係性、飼育文化、少子高齢社会での関係性、安楽死、終末期ケア、ペットロス、動物霊園・葬儀、補助犬観、産業動物観、実験動物観、動物カフェなど動物関連文化ほか

関連テーマの共著、共編著、翻訳書

現代社会と家庭動物

特定非営利活動法人 動物愛護社会化推進協会 認定
動物愛護推進員をめさすための
動物愛護社会化検定専門級試験
|公|式|テ|キ|ス|ト|ブ|ック|



監修：林 良博 / 奥野卓司 / 堀井戸大成

interzoo

犬と猫とヒトの
関係性の歴史

ヒトと動物の
多様な関係性



ハチ没後〈ハチ十年〉に捧げる

ハチは犬らしく生き、犬らしい完全な犬ではなかった。動物に人性化されたり、動物のない世界を想像したが、ハチと飼い主の上野博士とのつながりがこの世界にも下野博士の一行を促したことを、この物語が写している。

林 良博 (国立科学博物館・監修)

東京大学出版会

秋田犬と飼主の
歴史的関係性



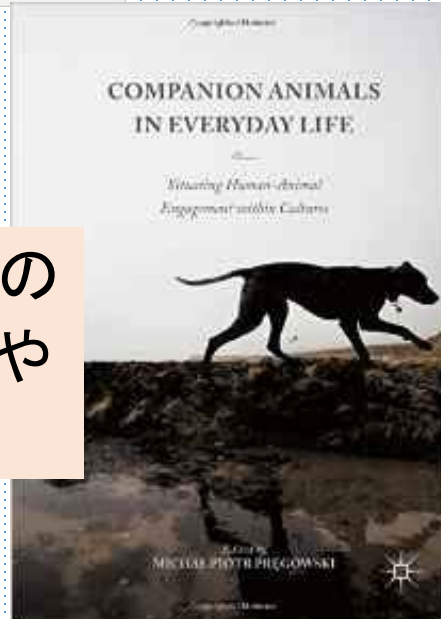
一ノ瀬正樹
新島典子 監

ヒトと
動物の死生学

—犬や猫との共生、そして動物倫理—

秋山書店

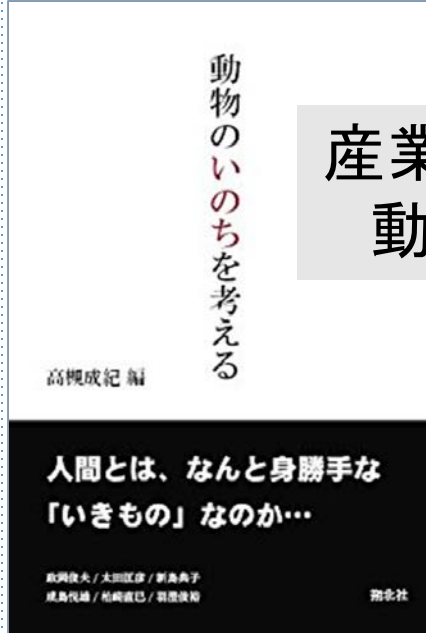
猫カフェでの
相互行為や
猫観



COMPANION ANIMALS
IN EVERYDAY LIFE

Fitting Human-Animal
Engagement into Culture

Edited by
MICHAŁ PIOTR PIĘGOWSKI



動物のいのちを考える

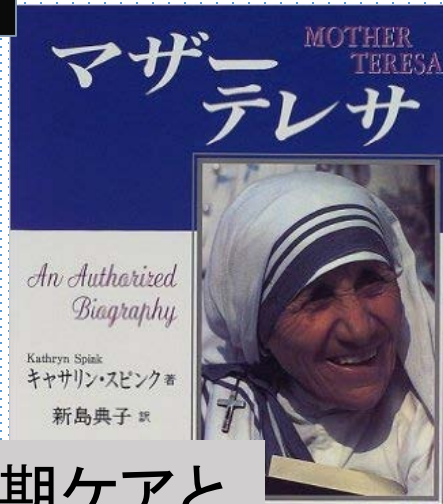
高槻成紀 編

人間とは、なんと身勝手な
「いきもの」なのか…

高槻成紀 / 太田区彦 / 新島典子
成島悦雄 / 松崎成巳 / 岩瀬俊和

南社

産業動物のいのち、
動物観や死生観



MOTHER
TERESA
マザー
テレサ

An Authorized
Biography

Kathryn Spink
キャサリン・スピンク 著

新島典子 訳

終末期ケアと
死生観

1. 日本の死生観とは？

	日本	西洋
人間の本質	肉体(人の価値を表す) 「ご遺体」を敬う ← 唯物思考	魂(人の価値を表す) 「肉体」=魂の仮の衣 「死体」=ゾンビ
宗教	土着:アニミズム(精霊・地霊信仰)、神道(多神教) → 複数の神々が山野河海に鎮座 外来:仏教(仏=悟りを開いた仏陀)が共存 → 神と仏を同一視=「神仏習合」信仰が形成 外来:キリスト教(一神教)の影響 → 特定の神を最高神に祀る「国家神道」へ	キリスト教 (一神教)
死後は	神道(神になる)→神仏習合(万人がホトケに)	神による救済、「再生」を期待
生死のイメージ	死=宇宙(生命の根源)への同化 生死=輪廻転生(人も動物も、魂は、生まれ変わりながら解脱に向け成長)という思想。	死=神の恩寵→死後を意識する生。現世の生き方次第で天国か地獄へ。生死=一方通行



1. 日本の死生観とは？

	日本	西洋
風土	脅威(地震、台風、津波)大規模 国土7割森林 →逆らわず風土へ適応	比較的安定的
風土と宗教の影響	現世への適応 + 仏教の無常観(諸行無常) = 「天然の無常」(四季の巡り; 蘇り・循環) が醸成[寺田寅彦]	気候冷涼、降雨量少、 彼方の死後に、絶対的な価値や存在 があると信じ、苦しい現世を生きる。
現世の暮らし向き	高い穀物生産力、生活豊か  弥生時代に稲作農耕が普及 狩猟に頼らず食糧を得られる	低い穀物生産力、生活苦しい 狩猟採集、商業にも活路を求め、 他地域・大陸への移民、略奪、征服
生のイメージ	生 = 楽しい → 死を忌避 = 不浄 (ex. 清め塩の利用)	生 = 苦しい → 死後に期待 死後が大きな関心事

2. 日本の動物観とは？

	日本	西洋
宗教の影響	万物は霊を宿す (アニミズム) (神道) 草木国土悉皆成仏 『涅槃経』	万物は人の支配対象 (キリスト教的秩序観) 海の魚、空の鳥、地の上を這う生き物をすべて支配せよ 『創世記』
距離感	同一線上の存在、家族、家族以上 「日本昔話」動物→人へ変身譚多い	一線を画する存在、家族 「グリム童話」動物→人へ変身譚ほぼ無し
かかわり	農耕民族； 殺す機会稀有 家畜＝野生を捨て苦楽を共に仲間	狩猟民族； 殺す機会多い 家畜＝人間の管理下、支配対象
配慮	終生生かす＝(SOL; 長さ)優先	苦痛を与えない＝(QOL; 質)優先
殺処分	限界まで殺処分忌避 (アニミズム＝霊の住処を奪わぬ為； 仏教＝殺生禁断令、殺生は穢れ →慰霊や供養(日本独自))	必要なら殺処分 (人間が果たすべき 管理責任)
飼いきれぬ時	遺棄(放生)、行政で引取・殺処分	殺処分、譲渡

3. 科学 VS 死生観・動物観の側面

(1) 国内動物病院での安楽死年間処置件数はわずか数件

(杉田, 入交, 新島, 2010)

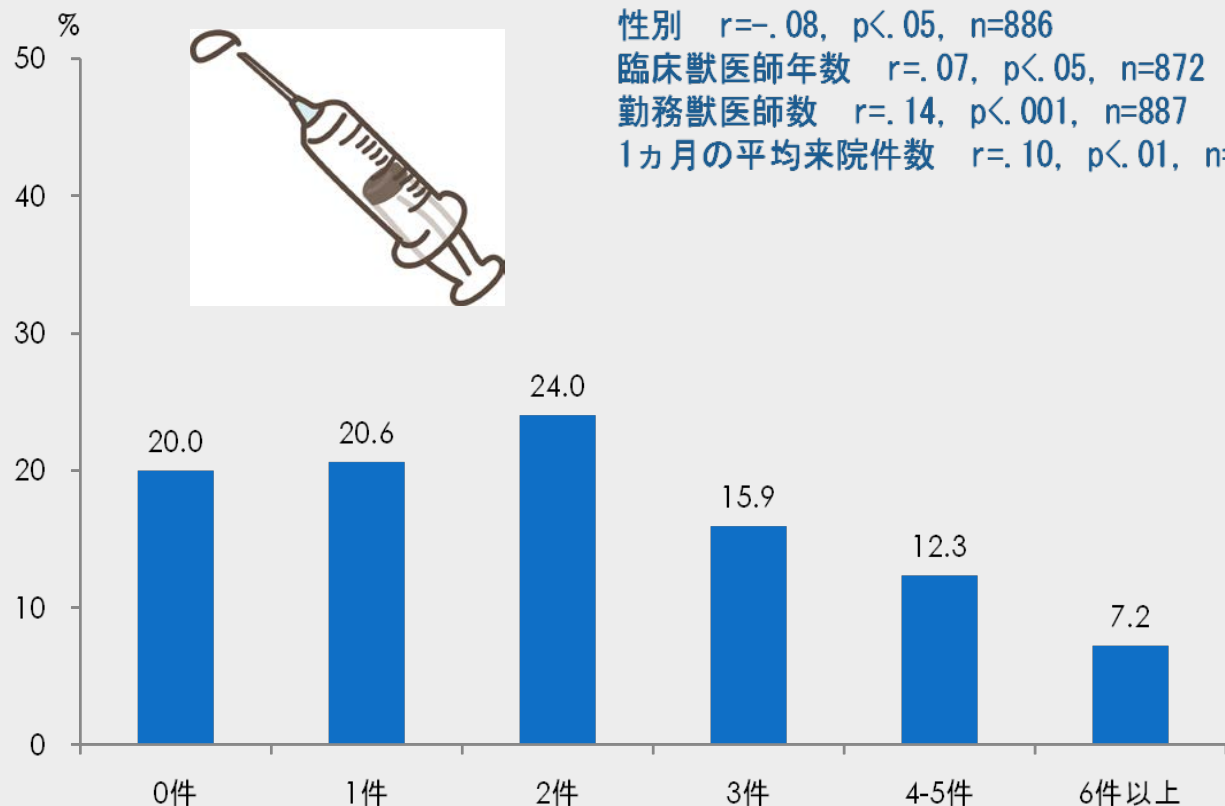
回答者の属性との相関関係

性別 $r = -.08, p < .05, n = 886$

臨床獣医師年数 $r = .07, p < .05, n = 872$

勤務獣医師数 $r = .14, p < .001, n = 887$

1カ月の平均来院件数 $r = .10, p < .01, n = 820$



QOL(安楽死) < SOL(死の間際まで)

■ 計893人

NTTiタウンページ2008年7~8月現在掲載の全国の動物病院から3,000軒を無作為抽出、2009年8~9月に調査票調査。回収率31.8%。
JSPS科研費(20530578)による助成。

3. 科学 VS 死生観・動物観の側面

(2) 動物実験に従事し、思い悩む学生も(新島, 2010)

- 実験動物の殺処分

= 科学的知見の獲得(正当事由)

「動物慰霊祭でしっかり祈り、感謝」

「貴重ないのちを無駄にせず、有効活用に努める」

「もやもや(科学者失格?)が残る場合、研究室では話しづらい、親や学外友人に打ち明ける」

実験がつらくて、通えなくなる人、
実験の無い他学科へ転科した人も



獣医学部の動物実験従事学生の動物観や死生観を、2008年に聞き取り調査。

科学的知見の獲得目的(正当事由)
科学的に福祉に配慮した実験手法

but

殺処分への忌避、割り切りの難しさ



心情的に揺れ動き思い悩む事例

4. 道徳や倫理は
私たちの行動や振る舞いを
どのように左右するのか？

～人文社会科学の
動物愛護管理への影響や可能性～



道徳、倫理とは： 善悪、正不正の規範

- 「倫理」と「道徳」は大体同じ

宗教や文化の影響を受ける



倫理って「理屈」
が伴うのね



倫理	理（なぜそうなのか）が伴う 適切な心のあり様であっても、どうしたらよいか、迷う場面もある
道徳	心の持ちように重点がおかれる 心のあり様と行為が直結しているような場面が念頭にある

道徳＝正しい行為をなすため守るべき規範の総体

1. 人々が、善悪をわきまえて正しい行為をなすために、守り従わなければならない規範の総体。

外面的・物理的強制を伴う法律と異なり、
自発的に正しい行為へと促す、内面的原理として働く。

2. (道と徳を説くことから) 老子の学

(デジタル大辞泉)

倫理＝人間関係のあり方についての社会的要請

何のため？＝社会が平和的に調和を保って存続するため

具体的には

- 「他人に害を及ぼさないようにしよう」

他人の生命や財産に害を及ぼさない

迷惑にならぬよう、他人の選択や行動を支配しない

- 「互いに助け合いましょう」

社会として平和を保つための協力要請や、

日常生活で「困っている人がいたら、助けましょう」等まで含む。

人間の行動や振る舞いを決める方程式

私たちは、**社会的要請**に応じて、**倫理的に適切な行為**を決めている

状況に向かう
姿勢

(倫理的姿勢)

+

状況把握

(日本社会における
通念、常識による
社会的要請)

⇒

正しく適切な
行動を選択

(行動・選択)

社会的要請に応じて倫理的に適切な行為を選ぶ とは

たとえば、電車の中では携帯電話をかけないという振舞いの選択は、次のような構造をしています。



倫理的姿勢
周囲の人に害をおよぼさないようにしよう

+



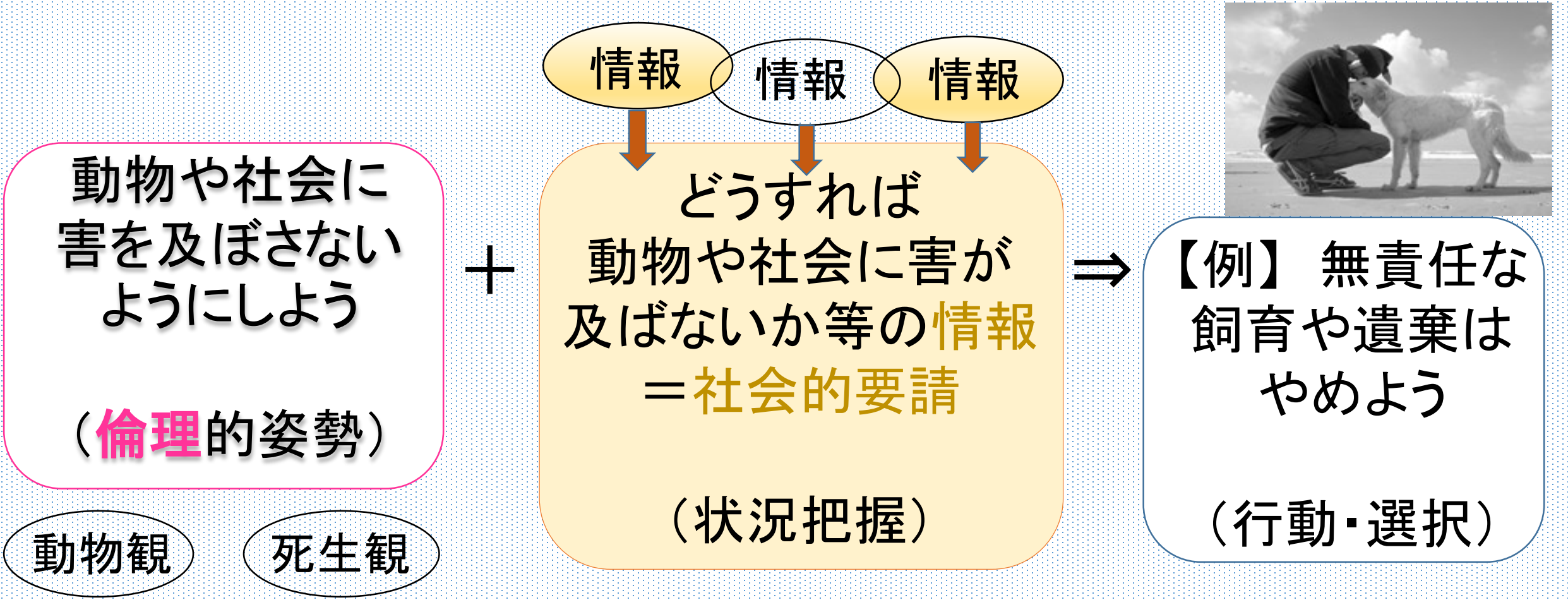
状況把握
電車の中で携帯をかけると、周囲の人に害がおよぶ
(日本の社会的通念)



行動・選択
電車の中では携帯をかけない

(1) 世間の動物への行動や振る舞いを変えてゆくなら...

「何が適切か」という社会的要請や、状況把握に必要な情報を漏れなく伝えることで、行動選択の変化に繋がるのでは



動物や社会に
害を及ぼさない
ようにしよう

(倫理的姿勢)

動物観

死生観

+

情報 情報 情報

どうすれば
動物や社会に害が
及ばないか等の情報
= 社会的要請

(状況把握)

⇒

【例】無責任な
飼育や遺棄は
やめよう

(行動・選択)



(2) 動物のいのちへの眼差しを変える契機となりうるのが...

人の尊厳死法案の議論の深化を待つ

⇒ **倫理的姿勢**に影響する新たな死生観の創出？

「害」とは？ 尊厳ある生とは？
人ではSOL→QOL重視へ

尊厳死法案
の議論

日本人の「安楽死」許容度は高め
自殺や家庭内暴力、売春の許容度
を上回る(世界価値観調査、2005)

動物や周囲に
害を及ぼさない
ようにしよう

(**倫理的姿勢**)

動物観

新たな死生観

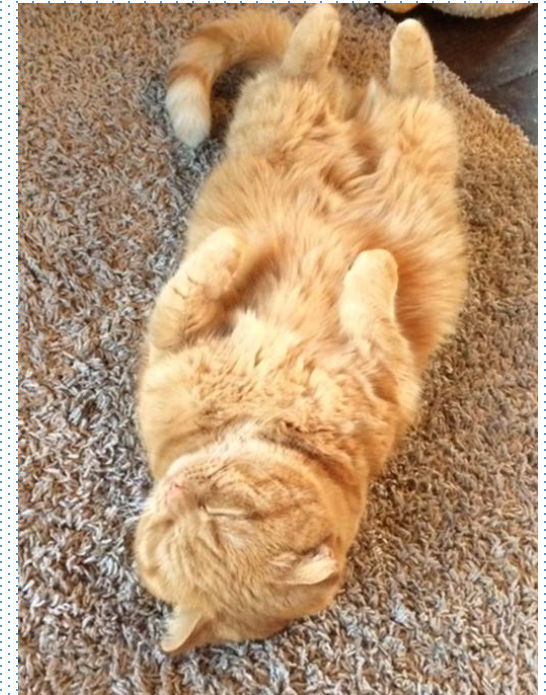
こうすれば動物や
社会に害が及ばない
という**情報**
=**社会的要請**

(状況把握)

【例】QOL重視なら
無責任飼育や
遺棄より、
害の少ない
譲渡や安楽死？
(行動・選択)

まとめ： 道徳、倫理、生命観、動物観と動物愛護管理

1. 日本の死生観 → 宗教や風土の影響から、死や殺生を忌避し考えない傾向
2. 日本の動物観 → 仲間であり、殺す位ならいっそ捨てたいという心情
3. 科学 VS 死生観・動物観の側面
 - (1) 安楽死件数 少 : QOL(質) < SOL(長さ)
 - (2) 動物実験従事 : 科学的理解 < 心情的揺れ動き
4. 道徳や倫理、生命観、動物観と動物愛護管理
 - (1) 適切な行動への社会的要請 + より多くの情報を周知
→ 動物にとってより良い行動選択へ？
 - (2) 人に関する死生観の変容？ : SOL(長さ) < QOL(質)？
→ 動物でもQOLを重視する意識の醸成？





ご清聴ありがとうございました